

Form and
Conformation of
Cameras

平成 25 年度ミュゼふくおかカメラ館

常設展

カメラとスタイルーⅡ



カメラの歴史はフィルムの歴史とも言われます。大きさや形体、性質など様々に進化を遂げるフィルムの仕様は、カメラの機能はもちろん、そのスタイルの変化に大きく関わっています。

今回の常設展ではまず、映画用 35 ミリフィルムを使用し実用性を高めた小型カメラ「ライカ」と、同じドイツの高級 35 ミリ精密カメラ「コンタックス」を比較し展示します。また、ロールフィルムを縦方向に装填し正方形の写真が撮影できる金属製二眼レフカメラ、さらに写真の課題であった撮影からプリントまでの時間を一気に短縮したインスタントカメラ「ポラロイドカメラ」をご紹介します。また、2倍の枚数撮影ができることで人気を博したハーフサイズカメラ、そしてファインダーを覗いたままの撮影が可能になり、日本のカメラメーカーの技術を世界に知らしめる大きなきっかけとなった一眼レフカメラに焦点を当てます。

時代とともに変化してきたカメラのスタイルの変遷を、機能やデザインの視点も含めて楽しく紹介いたします。英知と努力を重ね、ものづくりの精神に支えられながら進化してきたクラシックカメラの魅力あふれる世界を、どうぞお楽しみください。

■とき

平成 26 年1月4日(土)～3月 30 日(日)

■ところ

ミュゼふくおかカメラ館 1階常設展示場

* 開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

* 入館料：一般300円、大・高校生200円、小・中学生100円

企画写真展に含む(ワンダーフォト展、ニコール展)

* 休館日：毎週月曜日(月曜祝日の場合はその翌日)

【展示内容】

第1展示ケース「ライカ、コンタックスにみる 35ミリ精密カメラ」

第2展示ケース「今なお愛される独特のフォルム、二眼レフカメラ」

第3展示ケース「コンパクトでたくさん撮れる ハーフサイズカメラ」

第4展示ケース「ポラロイドカメラにみる インスタントカメラ」

第5展示ケース「見たまま写せる画期的発明 一眼レフカメラ」

ミュゼ ふくおか カメラ館
FUKUOKA CAMERA MUSEUM